

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務)		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルコーディネーター学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合せて)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	圧迫面接	
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1	1 3-4から3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す	
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2	3-4から3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3	3-4から3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る	
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	15	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	16	自己PRの作り方1	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	17	自己PRの作り方2	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	18	自己PRの作り方3	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	19	中間テスト		
	20	履歴書作成	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務)		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルコーディネート学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合せて)		週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	3	作成書類 1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成	
	4	作成書類 2		
	5	作成書類 3		
	6	企業訪問	5-1.5-2 準備、当日、事後の指導をしてください	
	7	就職試験のマナー 1	5-2~5-3(実践編) 入退室	
	8	職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1	
	9	職試験のマナー 3	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2	
	10	筆記試験対策 1	5-5.5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る	
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務 I	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルコーディネーター学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験		
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト・ブライダルのお仕事・結婚準備パーフェクトBOOK		
授業外学習 の方法	テキストを読む		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	自己紹介ウエディングプランナーのお仕事	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	2	今時の結婚式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	3	今時の結婚式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	4	結婚式場の種類と挙式スタイル	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	5	婚約から式場決定までのプロセスとプランナーの	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	6	家族・親族の間柄ゲストリストを作る	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	7		ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	8	招待状の文面の種類とルール	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	9	自習: 演出を調べる	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる
	10	BBW打合せ①<カウンセリング>	企画・運営を考えプランニングする
	11	(休校)	
	12	前期復習	
	13	中間テスト	
	14	(フェスタ準備)	
	15	(終業日)	
	16	(夏休み)	
	17	顧客満足度を上げる接客と打ち合わせ	企画・運営を考えプランニングする
	18	BBW打合せ③<スケジュール・カウンセリング2・招待状>	企画・運営を考えプランニングする
	19	BBW打合せ④<スケジュール・カウンセリング3・招待状>	企画・運営を考えプランニングする
	20	BBW打合せ⑤<スケジュール・カウンセリング4・招待状>	企画・運営を考えプランニングする
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務 I	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルコーディネーター学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験		
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト・ブライダルのお仕事・結婚準備パーフェクトBOOK		
授業外学習 の方法	テキストを読む		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	披露宴企画	挙式披露宴の流れ
	2	披露宴企画	進行台本の作成
	3	ペーパーアイテムとは	招待状の基礎知識
	4	ペーパーアイテムとは	テーブルプラン
	5	ペーパーアイテムとは	ペーパーアイテム
	6	市場調査と婚礼ビジネス	婚礼市場調査
	7	市場調査と婚礼ビジネス	ランキング作成
	8	パッケージと販売促進	販売促進
	9	パッケージと販売促進	広告媒体の実例
	10	パッケージと販売促進	ブライダルフェア
	11	まとめ	
	12	BBウエディング	結婚式に向けての準備
	13	BBウエディング	結婚式に向けての準備
	14	BBウエディング	結婚式に向けての準備
	15	BBウエディング	結婚式に向けての準備
	16	BBウエディング	結婚式に向けての準備
	17	BBウエディング	結婚式に向けての準備
	18	BBウエディング	リハーサル
	19		
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネートⅠ		指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。			
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、マップ評価、テスト			
使用教材	25ansウエディング、日本のドレスコーディネーター育成プログラム			
授業外学習 の方法	ウエディング雑誌を見る			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション		
	2	自分の着たいドレスを見つけよう		
	3	ドレスの種類	ライン(シルエット)	
	4	ドレスの種類	ライン別マップ作成 Aライン 雑誌を準備	
	5	ドレスの種類	ライン別マップ作成 プリンセスライン 雑誌を準備	
	6	ドレスの種類	ライン別マップ作成 ドームライン 雑誌を準備	
	7	ドレスの種類	ライン別マップ作成 マーメイドライン 雑誌を準備	
	8	ドレスの種類	ライン別マップ作成 スレンダーライン 雑誌を準備	
	9	ドレスの種類	ライン別マップ作成 エンパイヤライン 雑誌を準備	
	10	ドレスのデザインディテール	名称と種類	
	11	ドレスの素材と装飾	名称と種類	
	12	テスト		
	13	ドレスのサイズ	衣装企業への見学とレクチャー	
	14	ベール、グローブ、シューズ	衣装企業への見学とレクチャー	
	15	ヘッドドレス、ネックレス、イヤリング、その他	衣装企業への見学とレクチャー	
	16	ブライダルブーケ	ブーケの種類	
	17		ブーケの種類別マップ作成	
	18	フィッティング小物	ブライダルインナー、パニエ、アンダーウェア	
	19	花嫁ドレスタートータルコーディネート	衣装企業への見学とレクチャー	
	20	まとめ	レポート	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネートⅠ		指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。			
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、マップ評価、テスト			
使用教材	25ansウエディング、日本のドレスコーディネーター育成プログラム			
授業外学習 の方法	ウエディング雑誌を見る			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	和装	和装の歴史、着物の生地と意匠	
	2	和装	花嫁衣装の種類と各部位の名称	
	3	和装	和装小物	
	4	新郎の衣装	洋装の種類と各部位の名称	
	5	新郎の衣装	メンズフォーマルウェアのサイズ、アクセサリ	
	6	新郎の衣装	新郎和装	
	7	ドレスフィッティング実習	フィッティング技術	
	8	ドレスに合わせたトータルコーディネート	白ドレス	
	9	ドレスに合わせたトータルコーディネート	カラードレス	
	10	テスト		
	11	参列者の衣装	両親媒酌人夫妻の衣装	
	12	参列者の衣装	その他参列者の衣装	
	13	ドレスの管理・お手入れ	衣装企業への見学とレクチャー	
	14	トレンドのドレス	衣装企業への見学とレクチャー	
	15	トレンドのタキシード	衣装企業への見学とレクチャー	
	16	トレンドの和装	衣装企業への見学とレクチャー	
	17	まとめ	レポート作成	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務 I		指導担当者名	水野 直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルコーディネート学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	秘書検定2級を目指す。 秘書の学習を通して、接客マナーを身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、テストなど				
使用教材	現役審査員が教える秘書検定2級・3級テキスト&問題集、秘書検定新クリアテスト2級				
授業外学習 の方法	予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	秘書検定とは 導入		
	2	マナー・接客 人間関係と秘書	サンプル文章を配布しレクチャー		
	3	接客マナー	身だしなみ・接客対応		
	4	接客マナー	接客対応(上座と下座・お茶の出し方)		
	5	敬語・接客用語	丁寧語・尊敬語・謙譲語		
	6	電話対応	参考文章を例に実習		
	7	秘書の資質(理論)	求められる良識・身だしなみ		
	8	職務知識	機能と役割		
	9	組織	ラインとスタッフ・企業とスタッフ		
	10	一般知識	財務・法務		
	11	一般知識	マーケティング・カタカナ用語		
	12	前期期末テスト			
	13	期末テスト振り返り			
	14	上司と秘書の関係	秘書の業務・PDSサイクル		
	15	報告・説明・依頼	文書作成・話し方		
	16	説得・断り・苦情処理	電話対応・話し方		
	17	聞き方の基本	命令・指示・忠告を受ける際の聞き方		
	18	交際業務	慶事・弔事・贈答(上書き・水引)		
	19	パーティ・会議の知識	会議の形式・種類		
	20	文書作成	社内・社外文書		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務 I	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルコーディネート学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	秘書検定2級を目指す。 秘書の学習を通して、接客マナーを身に付ける。		
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、テストなど		
使用教材	現役審査員が教える秘書検定2級・3級テキスト&問題集、秘書検定新クリアテスト2級		
授業外学習 の方法	予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い
	2	グラフ作成	
	3	オフィス機器・事務機器・ファイリング	資料整理・環境管理
	4	検定模擬テスト	
	5	検定対策	過去問題
	6	検定対策	過去問題
	7	検定の自己採点	レポート作成
	8	後期期末テスト	
	9	期末テスト振り返り	
	10	検定対策	過去問題
	11	検定対策	過去問題
	12	検定対策	過去問題
	13	検定対策	過去問題
	14	検定対策	過去問題
	15	検定対策	過去問題
	16	秘書検定2級対策	模擬テスト
	17	秘書検定2級対策	模擬テスト
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	着付	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ブライダルコーディネーター学科1年
授業方法	講義:座学	演習:○	実習: 実技:
時間数	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、一般着付け技術を学ぶ。		
評価方法 評価基準	授業態度、技術力、テストなど		
使用教材	着物一式		
授業外学習 の方法	予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自己紹介 着付けの目的	講師紹介、今後の流れ
	2	礼装	実物・プリントの準備
	3	着物と着付け	実物・プリントの準備
	4	着物のいろいろ	実物・プリントの準備
	5	帯	実物・プリントの準備
	6	小物	実物・プリントの準備
	7	着物各部の名所	実物・プリントの準備
	8	着物の畳方	実物・プリントの準備
	9	着付けの一般的要領 着付けの準備物	実物・プリントの準備
	10	着付け実習 補正の仕方①	相モデルで演習
	11	着付け実習 補正の仕方②	相モデルで演習
	12	着付け実習 補正の仕方③	相モデルで演習
	13	着付け実習 長襦袢の着せ方①	相モデルで演習
	14	着付け実習 長襦袢の着せ方②	相モデルで演習
	15	着付け実習 長襦袢の着せ方③	相モデルで演習
	16	着付け実習 着物の着せ方①	帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習
	17	浴衣の着付け①	相モデルで実習
	18	浴衣の着付け②	相モデルで実習
	19	着付け・ヘアメイク プレゼンに向け準備・練習	相モデルで実習
	20	着付け・ヘアメイク プレゼンに向け準備・練習	相モデルで実習
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論 I		指導担当者名	増子 春美	
実務経験	結婚式場ブライダルコーディネーター・司会実務経験 17年			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	ブライダルの基礎知識を学習し、2年次に行われるブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、テストなど				
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト ブライダル用語辞典				
授業外学習 の方法	予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション			
	2	結婚とは	婚姻の要件、日本の結婚状況		
	3	県内の結婚式の特徴(ゼクシー)	各エリアに合わせた形式		
	4	県内の結婚式の特徴(ゼクシー)	結婚に関する風習・いわれ		
	5	ブライダル業種(県内)	ホテル、レストラン等		
	6	ブライダル業種(県内)	テーブルマナー		
	7	ブライダル業種(県内)	テーブルマナー		
	8	ブライダル業種(県内)	テーブルマナー		
	9	ブライダルの基本	見合いと婚約		
	10	ブライダルの基本	結納、結婚式		
	11	結婚式	司会の進め方		
	12	結婚式	結婚式場の内情		
	13	結婚式	人前結婚式		
	14	結婚式の小物	リングピロー作成		
	15	結婚式の小物	リングピロー作成		
	16	結婚式の小物	リングピロー作成		
	17	結婚式の小物	ウエディング小物作成		
	18	欧米の結婚式	ヘアメイク・ネイルの違い		
	19	海外のウエディング	式場・アテンド・流れの違い		
	20	まとめ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論 I	指導担当者名	増子 春美
実務経験	結婚式場ブライダルコーディネーター・司会実務経験 17年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)	週時間数	2時間
学習到達目標	ブライダルの基礎知識を学習し、2年次に行われるブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、テストなど		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト ブライダル用語辞典		
授業外学習 の方法	予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	結婚式DVD鑑賞	衣装コーディネート
	2	コーディネーター業務	ブライダルセールスの特徴
	3	コーディネーター業務	プレゼンテーションの手法・制約業務
	4	コーディネーター業務	プレゼンテーションの手法・制約業務
	5	手配業務	衣装・ヘアメイク・演出の手配
	6	手配業務	引き出物・引き菓子
	7	手配業務	記録・記念アイテム・花の手配
	8	手配業務	役割・進行表
	9	手配業務	アテンド業務・テーブルセッティング
	10	手配業務	サービス業務・花の管理
	11	レストラン業務(配膳)	ドリンク、デザート
	12	レストラン業務(配膳)	料理サービス
	13	期末テスト	現状まとめ
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エステ		指導担当者名	柿沼 文恵	
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	フェイシャルエステや肌のトリートメント技術などブライダルエステについての基礎を学ぶ。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技テスト				
使用教材	フェイシャルマニュアル				
授業外学習 の方法	技術練習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	身だしなみ・エステ室の使用の仕方		
	2	衛生消毒	手指消毒・ベッドセッティング・タオル		
	3	フェイシャル導入	顔と手の名称・ポイントクレンジング(ウィッグ)		
	4	クレンジング	ポイントクレンジング・クレンジング(ウィッグ)		
	5	クレンジング拭き取り	ウエットコットン・ホットタオル拭き取り		
	6	クレンジング通し	手順の確認テスト		
	7	クレンジング	相モデル・モデルの誘導・セッティング		
	8	フェイシャルトリートメントの目的	相モデル・モデルの誘導・セッティング		
	9	マッサージ	マッサージのデモ・マニュアル作成		
	10	マッサージ	相モデルで練習		
	11	クレンジング・パックマッサージ	相モデルで練習		
	12	試験の流れ	相モデルで練習		
	13	テスト			
	14	カウンセリングシート	相モデルで練習		
	15	肌分析	肌タイプ・肌分析(スコープ・ウッドランプ・水分計)		
	16	パック	パックの手順・効果・デモ		
	17	クレンジング・パック	相モデルで練習		
	18	クレンジング・パック	相モデルで練習		
	19	マッサージ・パック	相モデルで練習		
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	エステ	指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	フェイシャルエステや肌のトリートメント技術などブライダルエステについての基礎を学ぶ。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技テスト		
使用教材	フェイシャルマニュアル		
授業外学習 の方法	技術練習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	エステ機器	使用方法レクチャー
	2	エステ機器	相モデルでの練習
	3	キッシング	講師による使用方法レクチャー
	4	キッシング	相モデルでの練習
	5	キッシング・マッサージ	実演と実習
	6	イオン導入	講師による使用方法レクチャー
	7	イオン導入	実演と実習
	8	マッサージ・パック	講師による使用方法レクチャー
	9	マッサージ・パック	実演と実習
	10	期末テスト	
	11	期末テスト振り返り	レポート
	12	トリートメント	背中ブラシ洗浄・パック
	13	ブライダルエステ	実践に向けた実習(ゴマーージュ)
	14		
	15		
	16		
	17		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ブライダルコーディネーター学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	メイクの技術・知識を身に付ける FMS ベーシック修了試験				
評価方法 評価基準	授業態度・課題・技術試験				
使用教材	メイク教材 プロフェッショナルベーシックメイクアップコーステキスト(FORUM MAKE-UP)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	メイク教材チェック	材料の理解・使い方・検定について		
	2	骨格について	輪郭、パーツを知る。		
	3	肌の仕組み	肌の仕組み、状態を知る。		
	4	肌の仕組み	肌のタイプを知る。		
	5	第一印象、肌の状態、チェック。	実際相モデルで肌に触れ診断する。		
	6	マッサージ(自分の顔)	マッサージの仕方。		
	7	マッサージ(相モデル)	相手の肌に触れる。		
	8	ファンデーション(自分の顔)	色合わせ		
	9	ファンデーション(相モデル)	色合わせ		
	10	ファンデーション(相モデル)	色合わせ		
	11	アイメイク	グラデーションのやり方		
	12	アイメイク(ファンデーション～アイシャドー)	ファンデーションから通して実施		
	13	テスト	アイシャドウまで		
	14	アイブロー	眉の形について		
	15	アイブロー(ファンデーション～アイブロー)	ファンデーションから通して実施		
	16	アイブロー(ファンデーション～アイブロー)	ファンデーションから通して実施		
	17	チークについて	チークの位置、バランス		
	18	リップについて	リップの書き方		
	19	トータルメイク	トータルバランス確認の仕方		
	20	シェーディング・ハイライト	顔形にあったハイライト、シェーディング		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	メイク		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	メイクの技術・知識を身に付ける FMS ベーシック修了試験				
評価方法 評価基準	授業態度・課題・技術試験				
使用教材	メイク教材 プロフェッショナルベーシックメイクアップコーステキスト(FORUM MAKE-UP)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	全体バランスメイク	色合わせ、輪郭にあったメイクをする		
	2	タイム計測	全体のタイムを知る		
	3	シェーディング・ハイライト	顔形にあったハイライト、シェーディング		
	4	全体バランスメイク	色合わせ、輪郭にあったメイクをする		
	5	タイム計測	全体のタイムを知る		
	6	修了試験同様タイム計測	45分計測(時間内にできるようにする)		
	7	修了試験同様タイム計測	46分計測(時間内にできるようにする)		
	8	修了試験同様タイム計測	47分計測(時間内にできるようにする)		
	9	修了試験同様タイム計測	48分計測(時間内にできるようにする)		
	10	修了試験同様タイム計測	49分計測(時間内にできるようにする)		
	11	筆記対策			
	12	筆記対策	過去問対策		
	13	筆記対策	過去問対策		
	14	筆記対策	過去問対策		
	15	修了試験実技			
	16	修了試験筆記			
	17	メイクプラン作成	相手の顔を知る(輪郭・パーツ)		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル	指導担当者名	大原 麻弥
実務経験	ネイリスト 実務経験7年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルコーディネート学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ネイル検定3級、ジェルネイル検定初級を取得。 ネイルの基礎技術・知識を学ぶ。		
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、技術力など		
使用教材	ネイリスト技能検定1級・2級・3級完全対策パイブル、JNAテクニカルシステムジェルネイル、ネイルキット		
授業外学習 の方法	技術練習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理論	教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識
	2	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策
	3	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策
	4	ファイルの使い方・ケア	指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧
	5	ケア・カラー	ブッシュアップ・ニッパワーク・流れを説明・実習。
	6	ケア・カラー (カラ5本指)	最初からの通し
	7	ケア・カラー	1つ1つ説明しながら相モデルで通し。
	8	アート	課題アートの描き方
	9	手指消毒～ケア	40分
	10	カラー～仕上げ	40分
	11	通し計測	80分
	12	中間テスト	80分
	13	ジェルネイルの基礎	ジェルネイルの基本をレクチャー
	14	ジェルネイルカラーリング	ジェルとは ドライケア
	15	ジェルネイルアート	ジェルとポリッシュの違い
	16	ジェルネイルカラーリングからアート	ジェルアート(ピーコック)
	17	ジェルネイル通し計測	通し計測
	18	ジェルネイル検定対策	通し計測
	19	ジェルネイル検定対策	通し計測
	20	ジェルネイル検定	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル	指導担当者名	大原 麻弥
実務経験	ネイリスト 実務経験7年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルコーディネート学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ネイル検定3級、ジェルネイル検定初級を取得。 ネイルの基礎技術・知識を学ぶ。		
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、技術力など		
使用教材	ネイリスト技能検定1級・2級・3級完全対策パイブル、JNAテクニカルシステムジェルネイル、ネイルキット		
授業外学習 の方法	技術練習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	3級検定内容	検定内容のレクチャー
	2	3級検定内容	ネイルケア
	3	3級検定内容	ポリッシュの使用方法
	4	3級検定内容	衛生管理・試験内容
	5	最終検定対策	モデルのケア・モデルでの検定対策
	6	ジェルネイル応用	テーマを決めて作品を作る
	7	ジェルネイルチップ作成	テーマを決めて作品を作る
	8	ジェルネイルチップ作成	テーマを決めて作品を作る
	9	ジェルネイルチップ作成	テーマを決めて作品を作る
	10	ジェルネイルチップ作成	テーマを決めて作品を作る
	11	テスト内容練習	作品制作
	12	テスト	
	13	まとめ	レポート
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアル		指導担当者名	根本 裕太	
実務経験	映像会社実務経験5年			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	撮影や映像編集の技術を学び、ブライダル業界での仕事に役立てる。				
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品				
使用教材	iPad				
授業外学習 の方法	動画を観る				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介		
	2	結婚式の映像	鑑賞		
	3	iPadでの撮影・編集	撮影		
	4	iPadでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	5	iPadでの撮影・編集	携帯電話やiPadを使って撮影		
	6	iPadでの撮影・編集	編集		
	7	iPadでの撮影・編集	編集		
	8	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	9	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	10	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	11	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	12	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	13	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	14	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	15	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	16	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	17	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	18	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	19	発表	プレゼン		
	20	まとめ	レポート		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアル		指導担当者名	根本 裕太	
実務経験	映像会社実務経験5年			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	撮影や映像編集の技術を学び、ブライダル業界での仕事に役立てる。				
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品				
使用教材	iPad				
授業外学習 の方法	動画を観る				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	映像編集	テーマ別の撮影		
	2	映像編集	テーマ別の撮影		
	3	映像編集	グループでの編集		
	4	映像編集	グループでの編集		
	5	映像編集	テーマ別の撮影		
	6	映像編集	テーマ別の撮影		
	7	映像編集	編集作業		
	8	映像編集	編集作業		
	9	BBウエディングの映像編集	結婚式の素材撮影		
	10	ビデオカメラでの撮影・編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモ・マーリン等を使い幅広い撮影方法での撮影		
	11	ビデオカメラでの撮影・編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモ・マーリン等を使い幅広い撮影方法での撮影		
	12	ビデオカメラでの撮影・編集	ウエディング用のビデオ撮影・編集		
	13	ビデオカメラでの撮影・編集	ウエディング用のビデオ撮影・編集		
	14	ビデオカメラでの撮影・編集	ウエディング用のビデオ撮影・編集		
	15	ビデオカメラでの撮影・編集	ウエディング用のビデオ撮影・編集		
	16	BBウエディングリハーサル	リハーサル撮影・編集		
	17	BBウエディング	当日撮影・編集		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	フラワーコーディネート		指導担当者名	萩原 恵望子	
実務経験	花屋・フラワーコーディネーター実務経験 10年			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	45時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	花の知識や技術を習得することにより、知識や見識が広がり、表現方法や想像力を身につけることができる。就職後も、その広い視点をいかしブライダル業界で対応できる能力を養う。また、心に潤いを与える美的情操の科目として豊かな人間性を養うことを目的とする。				
評価方法 評価基準	授業態度、製作物の取り組み方、完成度、レポート、など				
使用教材	ウエディング雑誌				
授業外学習の方法	作品を撮影して手順をまとめる				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	花の名前や種類、他己紹介	今まで意識のなかった花へ意識を向けさせる		
	2	ブリザードフラワー	プチギフトとして提案もできるアレンジ製作		
	3	ウエディングでの花の役割	ブーケやテーブル装花の種類を調べる		
	4	↓	コーディネートマップ作成		
	5	ハーバリウム	名札立てなどにも応用がきくアレンジ製作		
	6	つくりりボン、アートフラワー	様々な場面で役立つ作りりボンを学ぶ		
	7	ハーバリウム上級編	アクリル樹脂の扱いなども学ぶ		
	8	生花のアレンジメント	生花の切り方、扱い方などを学び日常にいかす		
	9	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ		
	10	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ		
	11	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ		
	12	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ		
	13	テーブル装花やその他の小物	ヘアオーナメントやその他の花の役割		
	14	グループにて1 アレンジ製作	他者の意見を取り入れたりかかわりを		
	15	グループにて2 アレンジ発表	大切にしながら美意識を高めていく		
	16	生花のアレンジメント	大切にしながら美意識を高めていく		
	17	アロマ	アロマソープ作成		
	18	アロマ	ルームフレッシュナー作成		
	19	フラワーコーディネート作品作成	作品制作		
	20	まとめ	レポート制作		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	英会話	指導担当者名	ピート・マッカーン
実務経験	ビジネス英会話講師10年		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	プライダルコーディネート学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	30時間	週時間数	2時間
学習到達目標	英会話の基礎を身につける		
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験		
使用教材	英会話テキスト WORLD ENGLISH Intro (NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING)		
授業外学習 の方法	予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	Welcome to the class	教科書P4～
	2	Meeting people1	ワークブックP3～
	3	Meeting people2	教科書P10～
	4	People and possessions1	ワークブックP5～
	5	People and possessions2	教科書P14～
	6	Daily life1	ワークブック10～
	7	Daily life2	教科書P22～
	8	自己紹介	ワークブックP15～
	9	自己紹介	ワークブックP25～
	10	Good times, bad times	教科書P46～ 課題ワークブックP30～
	11	期末テスト	課題提出
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	30時間	週時間数	6時間
学習到達目標	1年間の集大成として、学んだ知識を活かし企画を考える。		
評価方法 評価基準	取組姿勢、課題提出、企画プレゼン力		
使用教材	iPad		
授業外学習の方法	情報収集		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	オリエンテーション	修了制作の内容と評価のポイント
	2	テーマ・コンセプト	リサーチ・企画の作り方
	3	企画	企画書
	4	企画	パワーポイント作成
	5	企画書・プレゼン資料	プレゼン練習
	6	発表	
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務)		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合わせて)		週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動のためのノウハウと準備物の完成。就職に対する意識と社会常識を習得			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	就職活動について	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	昨年の資料に基づくレクチャー	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	業界の常識をレクチャー	
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1	自己PRのネタを探す	
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2	自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3	自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4	自己PRの骨格を作る	
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5	自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	志望動機の作り方 1	業界、会社にあった動機作り	
	15	志望動機の作り方 2	業界、会社にあった動機作り	
	16	自己PRの作り方1	業界、会社に合った自己PR 作り	
	17	自己PRの作り方2	業界、会社に合った自己PR 作り	
	18	自己PRの作り方3	業界、会社に合った自己PR 作り	
	19	中間テスト		
	20	履歴書作成	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務)		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合わせて)		週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動のためのノウハウと準備物の完成。就職に対する意識と社会常識を習得			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	志望動機の作り方 1	実践)業界、会社にあった動機作り	
	2	志望動機の作り方 2	実践)業界、会社にあった動機作り	
	3	作成書類 1	実践)加えて履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成	
	4	作成書類 2		
	5	作成書類 3		
	6	企業訪問	準備、当日、事後の指導をしてください	
	7	就職試験のマナー 1	入退室	
	8	職試験のマナー 2	面接試験対策1	
	9	職試験のマナー 3	面接試験対策2	
	10	筆記試験対策 1	筆記試験について、種類や方法を知る	
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	18	ポートフォリオについて	作品について	
	19	まとめ	就職活動のまとめ	
	20	レポート	レポート提出	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。		
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、テストなど		
使用教材	ウエディングプランナー育成プログラム ブライダルのお仕事		
授業外学習 の方法	予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	ウエディングプランナーのスキル	職種と仕事内容を学ぶ
	2	情報共有とイメージ共有の仕方	テーマの作成
	3	企画内容の策定	結婚式のリサーチ
	4	広告戦略と集客～成約までの流れ	式場のアピールプランニングを学ぶ
	5	顧客の動向と婚礼市場	市場やマーケティングを学ぶ
	6	挙式のパログラムと意味	神前式を学ぶ
	7	挙式のパログラムと意味	神前式を学ぶ
	8	挙式のパログラムと意味	仏前式・キリスト教式
	9	挙式のパログラムと意味	仏前式・キリスト教式
	10	BBW打合せ①<カウンセリング>	ゲスト来校によるヒアリングとカウンセリング
	11	テスト	
	12	BBWご提案プレゼン資料制作	プランをグループに分かれプレゼン準備をする
	13	BBW打合せ②<ご提案プレゼン>	プランをグループに分かれプレゼン準備をする
	14	プレゼン結果まとめ	プレゼン
	15	演出決定	企画内容の決定
	16	各担当ごとのスケジュール	演出・衣装・フラワー・音響・照明・映像など
	17	BBW打合せスケジュール作成	各担当決め・スケジュールの作成
	18	BBW打合せ③<スケジュール・カウンセリング2・招待状打合せ>	打合せ
	19	招待状準備	招待状のサンプル作成
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。		
評価方法 評価基準	授業態度、提出物、テストなど		
使用教材	ウエディングプランナー育成プログラム ブライダルのお仕事		
授業外学習 の方法	予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ウエディング準備	招待状・小物制作
	2	ウエディング準備	ウエルカムボード準備
	3	ウエディング準備	演出準備
	4	ウエディング準備	小物・動画・フォト関連の準備
	5	ウエディング準備	小物・動画・フォト関連の準備
	6	ウエディング準備	新郎新婦衣装
	7	ウエディング準備	ブーケ・会場装花
	8	ウエディング準備	ブーケ・会場装花
	9	ウエディング準備	音響・照明
	10	ウエディング準備	音響・照明
	11	ウエディング準備	運営確認
	12	テーブルマナー実習	バンケットの準備
	13	バンケット実習	バンケットの準備
	14	BBウエディング準備	校内リハーサル
	15	BBウエディング準備	校内リハーサル
	16	BBウエディング最終確認	会場リハーサル
	17	BBウエディング	結婚式
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルコーディネーターⅡ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年		実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:◎	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ドレスコーディネーター検定 ブライダルに関する衣装全般の知識や着装の技術を学ぶ。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・テスト		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム ヴァンサンカンウエディング		
授業外学習 の方法	テキストを読んでおく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	講師と強化の流れについて解説
	2	ドレスコーディネーターのお仕事と業界について	正礼装・ドレスコードについて
	3	ウエディングドレスの歴史	ファッション歴史
	4	ドレスのサイズや小物を学ぶ	画像集め(iPad&モニター)
	5	貸衣装店・業務内容・お客様の対応の仕方	ヘアスタイル・洋服。エステ等
	6	座学まとめブレイク(着装体験)	ドレス・パニエ・靴・ブーケ・ハール準備
	7	ドレス着装の手順	ドレス・パニエの合わせ方、小物のつけ方
	8	新郎洋装について	1年実務で学習したことの復習
	9	新郎洋装の着装体験	タキシード(新郎洋装・実物を見る、小物なども)
	10	花嫁和装の歴史や文様	花嫁和装の歴史や文様
	11	花嫁和装の着付け	花嫁和装・実物を見る
	12	テスト	花嫁和装・実物を見る
	13	新郎和装について	1年実務で学習したことの復習
	14	新郎和装の着付け	新郎和装・実物を見る
	15	ドレスサロン見学	新郎和装・実物を見る
	16	列席者の衣装 * 特にモーニング	新郎和装・実物を見る
	17	ドレスコーディネーターの業務(貸衣装店)	それぞれのショップの特性と流れ
	18	ドレスコーディネーターの業務	(セルドレスショップ)(オータートレスショップ)
	19	ドレスメンテナンス	(セルドレスショップ)(オータートレスショップ)
	20	まとめ	(セルドレスショップ)(オータートレスショップ)
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルコーディネーターⅡ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年		実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:◎	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ドレスコーディネーター検定 ブライダルに関する衣装全般の知識や着装の技術を学ぶ。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・テスト		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム ヴァンサンカンウエディング		
授業外学習 の方法	テキストを読んでおく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	前期の振り返り	振り返り
	2	フィッティング技術	名称を学ぶ
	3	フィッティング実習	フィッティング実務・採寸・対妊婦
	4	練習問題と解説	過去問題
	5	練習問題と解説	過去問題
	6	練習問題と解説	過去問題
	7	練習問題と解説	過去問題
	8	練習問題と解説	過去問題
	9	練習問題と解説	過去問題
	10	模擬問題	過去問題
	11	テスト	
	12	検定対策	過去問題
	13	ドレスコーディネーター検定	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務Ⅱ		指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間
学習到達目標	秘書検定準1級を目指す。 秘書の学習を通して、接客マナーを身に付ける。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・テスト			
使用教材	秘書検定新クリアテスト1級・準1級 秘書検定クイックマスター準1級			
授業外学習 の方法	予習・復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	導入・2級の振り返り	準1級の内容・検定の範囲	
	2	記述問題について	記述のポイント	
	3	マナー・接客(敬語)	傾向と対策	
	4	マナー・接客(接客用語)	来客対応(上座と下座・お茶の出し方)	
	5	言葉づかい	来客・上司・上司の家族に対して	
	6	電話対応	伝言を受ける・頼む	
	7	交際業務	賀寿・葬儀一般・訃報を受けた時の対応	
	8	〃	弔電・葬儀用語・水引・上書き	
	9	〃	慶事・見舞い(水引・上書き)	
	10	来客対応	参考例を配布、レクチャーと演習	
	11	技能 グラフの書き方と種類	参考例を配布、レクチャーと演習	
	12	郵便の知識	参考例を配布、レクチャーと演習	
	13	前期期末テスト		
	14	期末テスト振り返り	レポート	
	15	社外文書	頭語と結語・時候の挨拶	
	16	社内文書	秘文書の取扱い	
	17	会議	PCでの作成	
	18	職場のレイアウト	PCでの作成	
	19	カタログ・名刺の整理・ファイリング	PCでの作成	
	20	上司のスケジュール管理・出張の準備	PCでの作成	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務Ⅱ		指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間
学習到達目標	秘書検定準1級を目指す。 秘書の学習を通して、接客マナーを身に付ける。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・テスト			
使用教材	秘書検定新クリアテスト1級・準1級 秘書検定クイックマスター準1級			
授業外学習 の方法	予習・復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	一般知識(練習問題)	過去問題による対策	
	2	一般知識(練習問題)	用語の解説	
	3	一般知識(練習問題)	後輩指導・取引先の人との訪問	
	4	一般知識(練習問題)	会社機密の保持。職場知識	
	5	検定模擬試験	過去問台による対策	
	6	検定対策	過去問台による対策	
	7	検定の振り返り・自己採点	レポート	
	8	面接の流れ	テキストを使用し意味を理解する	
	9	面接練習	実習	
	10	確認	実習	
	11	面接模擬試験		
	12	社会人として必要な接客マナー	名刺交換	
	13		電話対応	
	14		身だしなみ	
	15	接客ロールプレイング	グループごとにロールプレイング	
	16	接客ロールプレイング	グループごとにロールプレイング	
	17	まとめ		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論Ⅱ		指導担当者名	増子 春美	
実務経験	結婚式場ブライダルコーディネーター・司会実務経験 17年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級取得 ブライダル全般の知識を身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・テスト				
使用教材	BIA出版 ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード ブライダル用語辞典				
授業外学習 の方法	テキストの振り返り・過去問題を繰り返し解く				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション			
	2	結婚の定義	結婚の法的意義・結婚の成立・婚姻の要件、日本の結婚状況		
	3	日本の結婚式:歴史と文化	日本の結婚式の歴史・結婚に関する風習・いわれ		
	4	欧米の結婚式:歴史と文化	欧米の結婚式と文化		
	5		キリスト教の結婚式・その他の宗教と結婚式		
	6	ブライダルビジネス	ブライダルビジネスとブライダルマーケット		
	7	ブライダル業種	ホテル・レストラン棟		
	8	ブライダル関連業種	婚活ビジネス・エイジェント・プロデュース・衣装、結婚情報サイト等		
	9	ブライダルのエリア特性	関東、名古屋、北海道・富山、四国、沖縄		
	10	ブライダル業界の1年と集客システム	ブライダル業界の1年と集客システム		
	11	ブライダルの基本	見合いと婚約・結納、結婚式・ブライダル準備・式の種類・披露宴・二次会		
	12	コーディネーター業務	コーディネーター業務とは		
	13	新規業務	集客方法		
	14	ブライダルセールス	商品と特徴		
	15	ホスピタリティー、プランニング、プレゼンテーション	新規フォロー		
	16	打ち合わせ業務	初回～当日までの流れを知る		
	17	コンセプトシート	コーディネートの考え方		
	18		衣装設定から披露宴、引き出物		
	19	手配業務	コンセプトに基づいて		
	20	当日業務	式、披露宴の流れ確認		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論Ⅱ	指導担当者名	増子 春美
実務経験	結婚式場ブライダルコーディネーター・司会実務経験 17年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級取得 ブライダル全般の知識を身に付ける。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・テスト		
使用教材	BIA出版 ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード ブライダル用語辞典		
授業外学習 の方法	テキストの振り返り・過去問題を繰り返し解く		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	検定試験に向けて	過去の範囲確認
	2	検定の過去問	2018年
	3	検定の過去問	2017年
	4	検定の過去問	2016年
	5	検定の過去問	2015年
	6	検定の過去問	2014年
	7	検定の過去問	2013年
	8	検定の過去問	2012年
	9	テスト対策	
	10	テスト	
	11	検定の過去問	個人のレベルに合わせた問題
	12		個人のレベルに合わせた問題
	13	実技練習	実技問題の内容確認
	14		実技試験対策
	15	検定対策	最終確認
	16	検定振り返り	自己採点
	17	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルメイク		指導担当者名	佐々木 美代子	
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	ブライダル業界に関わるヘアメイクを学ぶ				
評価方法 評価基準	授業態度、テスト、出席率				
使用教材	ヴァンサンカンウェディング2019 プリント配布、メイク教材				
授業外学習 の方法	予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション			
	2	基本メイクテクニック	自分の顔で実践		
	3	カバーメイクの方法	シミ、ソバカスの消し方		
	4	ファンデーションの色の決め方	首の色に合わせるファンデーションの色選び		
	5	アイブロウの書き方			
	6	色ドレスにあったアイシャドウ	寒色系 相モデル		
	7	色ドレスにあったアイシャドウ	暖色系 相モデル		
	8	色ドレスにあったチーク	寒色系 相モデル		
	9	色ドレスにあったチーク	暖色系 相モデル		
	10	色ドレスにあったリップ	寒色系 相モデル		
	11	色ドレスにあったリップ	暖色系 相モデル		
	12	テスト	相モデルでドレステーマにあったメイク		
	13	白ドレスにあったアイシャドウ			
	14	白ドレスにあったチーク			
	15	白ドレスにあったリップ			
	16	白ドレスにあったトータルメイク	相モデル		
	17	白ドレスにあったトータルメイク	相モデル		
	18	デコルテの艶だし			
	19	ドレス着装 メイク	相モデル		
	20	ドレス着装 メイク	相モデル		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルメイク		指導担当者名	佐々木 美代子	
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	ブライダル業界に関わるヘアメイクを学ぶ				
評価方法 評価基準	授業態度、テスト、出席率				
使用教材	ヴァンサンカンウェディング2019 プリント配布 はじめてのセット&アップ(髪書房)参照				
授業外学習 の方法	予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	基本アップ方法			
	2	ホットカーラーの巻き方	ウィッグ使用		
	3	コテの使用法	ウィッグ使用		
	4	ブラッシング種類を知る、束ね方	ウィッグ使用 ゴムの止め方		
	5	ピンの種類を知る、ピンの止め方	ウィッグ使用		
	6	ピンの止め方、ひねりの方法	ウィッグ使用		
	7	ピンの止め方、抑え込み、回転留め	ウィッグ使用		
	8	編み込む(三つ編み)	ウィッグ使用		
	9	編み込む(表編み込み)	ウィッグ使用		
	10	編み込む(裏編み込み)	ウィッグ使用		
	11	編み込む(ローブ編み)	ウィッグ使用		
	12	テスト	相モデルでドレスヘアにあったヘア		
	13	ハーフアップ	ウィッグ使用		
	14	トップアップ	ウィッグ使用		
	15	ドレス着装 メイク ヘア	相モデル		
	16	ドレス着装 メイク ヘア	相モデル		
	17	和装花嫁ヘアメイク	ウィッグ使用		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルネイル	指導担当者名	大原 麻弥
実務経験	ネイリスト 実務経験7年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルネイルの習得・流行アートの取得		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術点		
使用教材	ネイルキット		
授業外学習 の方法	施術工程の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	ネイルについて
	2	ウエディングドレスに合わせたネイル	雑誌からドレス選び・ネイルチップデザイン
	3	ウエディングドレスに合わせたネイル	チップ作成
	4	ウエディングドレスに合わせたネイル	ドレスとネイルチップでウエディングマップ作成
	5	ジェルネイルアート	立体花
	6	ジェルネイルアート	水彩花
	7	ジェルネイル夏アート	ドロップアート
	8	ジェルネイル夏アート	ヤシの木
	9	ブライダルネイル	フレンチネイル・ラメラインのフレンチネイル
	10	ジェルネイルアート	デニムネイル・タイダイ柄
	11	ジェルネイルアート	大理石ネイル・ターコイズネイル
	12	オリジナル作品	習得した技術を組み合わせデザインを考える
	13	オリジナル作品	実践(相モデル)
	14	ジェルネイルアート	マーブル柄・縦グラデーション
	15	ブライダルネイル	エンボス
	16	ジェルネイルアート	べっ甲ネイル
	17	ブライダルネイル	3Dバラ
	18	ブライダルネイル	ティファニーネイル
	19	オリジナル作品	習得した技術を組み合わせブライダルネイル
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルネイル	指導担当者名	大原 麻弥
実務経験	ネイリスト 実務経験7年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルネイルの習得・流行アートの取得		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術点		
使用教材	ネイルキット		
授業外学習 の方法	施術工程の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ジェルネイルアート	ツイードネイル
	2	ハワイネイル	ハワイアンネイル
	3	ブライダルネイル	レースネイル
	4	ジェルネイルアート	シースルーネイル
	5	ブライダルネイル	宝石ネイル
	6	ジェルネイルアート	チェック柄(赤)・ブランケット柄
	7	ジェルネイルアート	ヒョウ柄・ダルメシアン柄
	8	オリジナル作品	習得した技術を組み合わせデザインを考える
	9	オリジナル作品	実践(相モデル)
	10	成人式ネイル	着物に合わせたネイルデザイン
	11	成人式ネイル	実践(チップ作成・自爪に施術)
	12	ジェルネイルアート	ニットネイル・アーガイル柄
	13	ジェルネイルアート	ブライダルネイル作成(テーマを決めて)
	14	ジェルネイルアート	ブライダルネイル作成(テーマを決めて)
	15	ジェルネイルアート	ブライダルネイル作成(テーマを決めて)
	16	ドレスに合わせたネイル	習得した技術を組み合わせデザインを考える
	17	プレゼンテーション	発表
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー		指導担当者名	小池 久子
実務経験	カラーコーディネーター実務経験14年			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	パーソナルカラー検定モジュール1の習得 プライダル業界において通用するカラーの知識を身に付ける			
評価方法 評価基準	授業態度・課題・テスト			
使用教材	はじめてのパーソナルカラー パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック 新配色カード199a			
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	第1章式の自然を表す色 日本の色の歴史 赤系、橙系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	2	第1章色と生活 色の種類 赤系統	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	3	第1章色の種類 橙系統 第2章色の仕組み I 光について	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	4	第1章色の種類 黄系統 第2章色の仕組み II 光源、目の構造	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	5	第1章日本の色の歴史 身分、禁色、襲の色目 日本の色の歴史 黄系、緑系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	6	第1章わび・さび 江戸時代の色彩文化 日本の色の歴史 青系、紫系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	7	ファッション概論、プライダル色彩	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	8	肌、皮膚、髪 色と種類	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	9	第1章色の種類 青系統 第2章CUS色調	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	10	第1章色の種類 緑系統 第2章色の三属性 CU S色相	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	11	パーソナルカラーの特徴 色の種類(グレー)	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	12	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	13	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	14	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	15	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	16	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	17	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	18	前期テスト		
	19	復習		
	20			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	英会話	指導担当者名	ピート・マッカーン
実務経験	ビジネス英会話講師10年		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	30時間	週時間数	2時間
学習到達目標	基礎の英会話が身に付く		
評価方法 評価基準	授業態度・テスト		
使用教材	英会話テキスト WORLD ENGLISH Intro (NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING)		
授業外学習 の方法	予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	Films,music,news①	教科書P54～
	2	Films,music,news②	教科書P58～
	3		ワークブックP35～
	4	Let's go away①	教科書P62～
	5	Let's go away②	教科書P66～
	6		ワークブックP40～
	7	All in a day's work①	教科書P70～
	8	All in a day's work②	教科書P74～
	9		ワークブックP45～
	10	Mind and body①	教科書P78～
	11	Mind and body②	教科書P82
	12		ワークブックP50～
	13	Future plans①	教科書P86～
	14	Future plans②	教科書90～
	15		ワークブックP55～
	16	Life experiences①	教科書P94～
	17	Life experiences②	教科書P98～
	18		ワークブックP60～
	19	期末テスト	
	20	期末テスト解説	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアルⅡ	指導担当者名	根本 裕太
実務経験	映像会社実務経験5年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	撮影・映像編集の知識、技術が身に付く プライダルにおける撮影や映像編集のスキルを身に付ける		
評価方法 評価基準	授業態度・作品・課題提出		
使用教材	iPad		
授業外学習 の方法	予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	計画・運営担当の説明
	2	BBウエディングの映像	過去DVDによるレクチャー
	3	BBウエディングの映像映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする
	4	BBウエディングの映像映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする
	5	BBウエディングの映像映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする
	6	BBウエディングの映像映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする
	7	ビデオカメラでの撮影編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモを使い、幅広い撮影手法での撮影
	8	ビデオカメラでの撮影編集	MACでの編集を行う
	9	ビデオカメラでの撮影編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモを使い、幅広い撮影手法での撮影
	10	ビデオカメラでの撮影編集	MACでの編集を行う
	11	ビデオカメラでの撮影編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモを使い、幅広い撮影手法での撮影
	12	ビデオカメラでの撮影編集	MACでの編集を行う
	13	BBウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	14	BBウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	15	BBウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	16	BBウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	17	BBウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	18	BBウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	19	作品発表	
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	フラワーコーディネートⅡ	指導担当者名	萩原 恵望子
実務経験	花屋・フラワーコーディネーター実務経験 10年	実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	花の知識や技術を習得することにより、知識や見識が広がり、表現方法や想像力を身につけることができる。就職後も、その広い視点をいかし対応できる能力を養う。また、心に潤いを与える美的情操の科目として豊かな人間性を養うことを目的とする		
評価方法 評価基準	授業態度、製作物の取り組み方、完成度、レポート、など		
使用教材	ウエディング雑誌		
授業外学習 の方法			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	花の名前や種類、他己紹介	今まで意識のなかった花へ意識を向けさせる
	2	ブリザーブドフラワー	プチギフトとして提案もできるアレンジ製作
	3	ウエディングでの花の役割	ブーケやテーブル装花の種類を調べる
	4	↓	コーディネートマップ作成
	5	ハーバリウム	名札立てなどにも応用がきくアレンジ製作
	6	つくりりボン、アートフラワー	様々な場面で役立つ作りりボンを学ぶ
	7	ハーバリウム上級編	アクリル樹脂の扱いなども学ぶ
	8	生花のアレンジメント	生花の切り方、扱い方などを学び日常にいかす
	9	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	10	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	11	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	12	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	13	テーブル装花やその他の小物	ヘアオーナメントやその他の花の役割
	14	グループにて1 アレンジ製作	他者の意見を取り入れたりかかわりを
	15	グループにて2 アレンジ発表	大切にしながら美意識を高めていく
	16	生花のアレンジメント	大切にしながら美意識を高めていく
	17	アロマ	アロマソープ作成
	18	アロマ	ルームフレッシュナー作成
	19	フラワーコーディネート作品作成	
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実習	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験17年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:◎	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	本物の結婚式を通して、ウエディングに必要な知識を身に付ける。 プランニングから当日の運営まですべてを体験する。		
評価方法 評価基準	授業態度・取組の姿勢		
使用教材	ゼクシィ		
授業外学習 の方法	予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	オリエンテーション	新郎新婦のリサーチと結婚式の方向性
	2	打合せ①<カウンセリング>	GB: 打合せ後プライマリーさんにて申込
	3	ご提案プレゼン資料制作	A,B,C班に分かれて作成
	4	ご提案プレゼン資料制作	A,B,C班に分かれて作成
	5	打合せ②<ご提案プレゼン>	グループごとのプレゼン資料を作成
	6	打合せ②<ご提案プレゼン>	プレゼン結果 演出を決める
	7	打合せ③<スケジュール・カウンセリング3・招待状>	GB:システムで招待状デザイン選び
	8	打合せ③<スケジュール・カウンセリング4・招待状>	招待状文面校正作業(メール)
	9	打合せ④<コンセプトシート・進行内容>	招待状文面校正作業(メール)
	10	打合せ④<コンセプトシート・進行内容>	GB:ドレスサロン訪問
	11	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	
	12	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	GB:招待状発送
	13	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	↓
	14	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	GB:引出物決め(システム)
	15	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	GB:席次入力完了(システム)
	16	最終確認	
	17	BBウエディング	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作	指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	プライダルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	30時間	週時間数	5時間
学習到達目標	2年間の集大成として、学んだ知識を活かし企画を考える。		
評価方法 評価基準	取組姿勢、課題提出、企画プレゼン力		
使用教材	iPad		
授業外学習の方法	情報収集		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	オリエンテーション	修了制作の内容と評価のポイント
	2	テーマ・コンセプト	各自制作を開始
	3	企画	各自制作を開始
	4	企画	パワーポイント作成
	5	企画書・プレゼン資料	プレゼン練習
	6	発表	
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	企業実習	指導担当者名	企業指導者
実務経験	実習企業指導者		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	ブライダルコーディネート学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	30時間	週時間数	15時間
学習到達目標	実践授業の一環として、目指す業界の仕事に触れることでマナーや仕事内容を理解する。		
評価方法 評価基準	実習態度や実習対応力を中心に、基礎的知識等を判断していただき、評価表を提出する。		
使用教材	企業毎に違う		
授業外学習 の方法	自宅での予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	2	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルVMD		指導担当者名	市川 美佳	
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	ブライダルビューティ学科2年		
授業方法	講義:◎	演習:○	実習:	実技:	
時間数	30時間	週時間数	3時間		
学習到達目標	ディスプレイの知識やセンスを身に付け、ブライダルの仕事の現場で役に立つスキルを身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度、作品、提出課題				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」の必要ページコピー、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	ブライダルの雑誌などからディスプレイされているものを見ておく				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	オリエンテーション	VMDについて		
	2	ディスプレイ・VP・VMD概論	ディスプレイ・VPIについて		
	3	ディスプレイ・VP・VMD概論	リテールディスプレイについて		
	4	ディスプレイ・VP・VMD概論	ビジュアルマーチャンダイジングについて		
	5	ディスプレイ・VP・VMD概論	ビジュアルプレゼンテーションについて		
	6	ディスプレイ・VP・VMD概論	什器・器具・マネキン・ボディ・オブジェについて		
	7	企画・実技	テーマ別ディスプレイの企画・実技		
	8	ディスプレイ制作	グループごとに企画書を作成		
	9	ディスプレイ制作	材料の準備		
	10	ディスプレイ制作	制作		
	11	プレゼン			
	12	ブライダルサロンディスプレイ	衣装ディスプレイ		
	13	ブライダルサロンディスプレイ	小物、ウエディングアイテム		
	14	ブライダルサロンディスプレイ	ウエルカムボードについて		
	15	ディスプレイ・VP・VMDの実際	ディスプレイ・VP(ウインドーディスプレイ)		
	16	ディスプレイ演習	式場見学・レクチャー会		
	17	まとめ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					